

授業科目等の概要

(医療専門課程視能訓練科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			教育学 Pedagogy	教育とは何かを考え、家庭・社会・学校との関わりの中での人の役割や発達を理解し、乳幼児の成長についての理解を深めます。	1前	30	2	○			○			○	
○			数学 I Mathematics I	生理光学を学ぶ上で必要な基礎的な数学を学びます。	1前	15	1	○			○			○	
○			数学 II Mathematics II	生理光学 I を踏まえ、論文解釈に必要な統計学を学びます。	1後	30	2	○			○			○	
○			英語 I English I	日常会話や英作文などの基礎的な内容を学びます。	2前	30	2	○			○			○	
○			英語 II English II	論文読解に必要な英語能力を身につけます。	2後	30	2	○			○			○	
○			情報科学 Information Science	コンピュータの基本的な操作方法を学び、ワード・エクセルなどのソフトウェアの使用方法を習得します。	1後	30	2	○			○			○	
○			生物学 I Biology I	細胞の構造、組織・器官の発生等、生物学を系統的に学び、人体の構造・機能の理解に結びつけます。	1前	30	2	○			○			○	
○			生物学 II Biology II	細胞の構造・神経・遺伝を中心に、視能訓練士に必要な生物の構造と機能を学びます。	1後	30	2	○			○			○	
○			物理学 Physics	幾何光学を中心に、視能訓練士に必要な物理学的知識を身につけます。(光の3原則、プリズム、回折など)。	1前	15	1	○			○			○	

○		医用光学機器 Medical Engineering	眼底カメラ、細隙灯顕微鏡、視野計などの原理とメンテナンス方法を学びます。眼底の9方向パノラマ撮影を行います。	2後	30	2	○		○		○
○		医用光学機器演習 Medical Engineering	電気生理系検査（網膜電位図・視覚誘発電位・EOGなど）、超音波検査の適応疾患と波形の解析について学びます。	2通	45	1		○	○		○
○		眼光学特別講義 Ophthalmological Optics Special Lecture	眼鏡光学、コンタクトレンズ光学およびそれぞれの基礎的な処方、ケアについて学びます。	2通	30	2	○		○		○
○		社会福祉 Social Welfare	社会福祉への関心と理解を深め、臨床における視能訓練士の役割を学びます。	3通	30	2	○		○		○
○		医療倫理学 Medical Ethics	倫理学の概念を学び、特に医療分野における諸問題について考え、人間理解に結びつけます。	3通	30	2	○		○		○
○		精神衛生 Mental Health	国民衛生の動向を中心に、現代社会における健康の諸問題について考えます。また、代表的精神疾患について学び、精神的健康の保持・増進のため、精神健康障害の予防、回復、治療およびリハビリテーションについて理解を深めます。	1通	30	2	○		○		○
○		総合演習 I General Training I	学内外の行事や、研修、ボランティアなどに参加します。	1通	30	1		○	○		○
○		総合演習 II General Training II		2通	30	1		○	○		○
○		基礎視能矯正学 (眼球運動) Basic Orthoptics (Eye Movement)	外眼筋の作用、運動について学びます。	1前	15	1	○		○		○
○		基礎視能矯正学 (両眼視) Basic Orthoptics (Binocular Vision)	正常両眼視機能とその異常（複視・混乱視・抑制）、網膜対応、眼位などについて学びます。	1通	30	2	○		○		○
○		基礎視能矯正学 (眼科手術) Basic Orthoptics (Ophthalmic surgery)	屈折矯正手術、硝子体手術、白内障手術、緑内障手術、斜視手術他、眼科で行われる手術について学びます。	2通	30	2	○		○		○

○		視覚生理学 I Visual Angle I	形態覚および色覚の理解とその検査法について学びます。	1 前	30	2	○			○		○	
○		視覚生理学 II Visual Angle II	光覚および視野の理解とその検査法について学びます。	1 後	30	2	○			○		○	
○		視覚生理学演習 I Visual Physiology Training I	視力検査、色覚検査、視野測定についての原理と器械操作、測定方法について演習を行います。	1 通	45	1			○		○		○
○		視覚生理学演習 II Visual Physiology Training II	眼疾患に関連した視野異常の測定や視覚生理に関わる演習を行います。	2 通	45	1			○		○		○
○		神経眼科学 Neuro Ophthalmology	対光反射・瞳孔異常・核上性眼球運動障害・核下性眼球運動障害・視神経疾患を脳・神経解剖と関連付けて理解し、眼振を含め神経眼科疾患に必要な検査及び検査方法を学びます。	2 通	30	2	○				○		○
○		小児眼科学 Pediatrics	乳幼児・小児の発達を理解し視能訓練士の臨床活動に必要な知識を学びます。	2 通	30	2	○				○		○
○		基礎視覚障害学 Basic Visual Disorders	視覚障害者の疑似体験・各種用具を実際に使用し、視覚障害者への理解を深め、眼科リハビリテーションにおける視能訓練士の役割について学びます。	1 後	15	1	○				○		○
○		視覚障害学 Visual Disorders	視覚障害の定義、視覚障害者の推移、等級、法律、補助具について理解します。	2 通	30	2	○				○		○
○		症例検討 Case Studies	臨地実習で経験した症例についてまとめ、発表を行います。	3 通	15	1	○				○		○
○		関係法規・医学概論 Medical Related Law/ Historical Outline of Medical Science	医学の進歩の歴史と全般的な知識、視能訓練士に必要とされる社会保険制度について学びます。	1 後	15	1	○				○		○
○		眼科薬理学 Ocular Pharmacology	薬理作用の機序を理解し、眼科学疾患における薬物療法について学びます。	2 前	30	2	○				○		○
○		視能訓練学（弱視） Orthoptic Science Amblyopia	小児の視覚発達の特性を理解し、弱視治療の歴史、原理、方法、訓練の実際、効果判定について学びます。	2 前	30	2	○				○		○

○		視能訓練学（斜視各型） Orthoptic Science (Strabismus)	先天性斜視および後天性斜視の各型を理解し、両者の違い、診断方法について学びます。	1 後	30	2	○			○		○		
○		斜視検査 I Strabismus Testing I	眼位（定性・定量）について理論および手技を学びます。	1 通	15	1	○			○		○		
○		斜視検査 II Strabismus Testing II	斜視の検査及び治療（固視検査、眼位検査、立体視検査、大型弱視鏡検査、網膜対応検査、眼球運動検査等）について学びます。	2 通	30	2	○			○		○		
○		視能検査演習 I Ophthalmic Test Training I	斜視検査 I に基づき、各種検査について実践を通して学びます。	1 通	45	1	○			○		○		
○		視能検査演習 II Ophthalmic Test Training II	斜視検査 II に基づき、各種検査について実践を通して学びます。	2 通	45	1	○			○		○		
○		臨地実習 I Clinical Practice I	臨地実習の目的・意義、および医療接遇について十分理解した上で、実際の視能訓練士の業務を経験します。また、講義や学内実習・演習で学んだ知識や技術を統合させ、専門分野の学習へとつなげます。	3 前	315	7				○		○		○
○		臨地実習 II Clinical Practice II		3 前	315	7				○		○		○
合計			63科目	2460単位時間(114単位)										